



小笠原村立小笠原中学校 学校だより

令和3年11月1日 第7号
小笠原村立小笠原中学校
校長 小野満 賢

学校ホームページ

<https://www.ogachu.ogasawara.ed.jp>

変更になりました



学校フェイスブック

<https://www.facebook.com/ogasawara.jhs>



おてんとうさまは見ている

校長 小野満 賢



「おてんとうさまは見ているよ。」というのは祖母の口癖でした。おてんとうさまは、「お天道様」と書き、太陽のことだったり、神様や仏様を指したりします。

「他に誰も見ていなくても、おてんとうさまは必ず見ているのだから、悪いことをしてはダメですよ。」という戒めの言葉として孫の私に言っていると思っていました。実際、小学生だった私は、いつもおてんとうさまが見張っているのだから、悪いことやずるいことはしてはいけないと思っていました。とは言えいろいろなことをしでかして、こっぴどく叱られたことはたくさんあります。ただ、「おてんとうさま」は怖い存在で、何か失敗すれば容赦なく天罰が下されるのではないかという「恐れ」みたいなものがあつたのも事実です。

でも祖母の考えはちょっと違っていました。「おてんとうさま」はいつでも見ているのだから、良いことをした時ももちろん見ていてくれると言うのです。今思いつくことで例えを挙げると、靴やスリッパを自分のだけではなく他の人の分もそろえたり、家の前の掃除をしていて少しだけお隣の家のところもきれいにしたり、忘れ物を取りに来た教室で、風で飛ばされた友だちのプリントを拾って机の中に入れてあげたり、廊下の掲示物の画鋸が取れているのを見付けてそっと直したり、家に帰る途中で道端に落ちているごみを拾ったり、というようなことです。誰も見ていなければその行いは感謝もされないし褒めてももらえないかもしれないけれど、「おてんとうさま」はちゃんと見ているのですよ、というわけです。1903（明治36）年生まれ祖母はもう30年以上も前に他界していますが、「おばあちゃん子」だった私は祖母の影響を色濃く受けているような気がします。

あくまでも心の持ちようなのですが、私自身、悪いことはしないまでも、誰も見ていなければ、怠けたり、さぼったり、楽な方に流れたり、いい加減なことをしてしまいそうな場面はいくらでもあります。そんな時に「おてんとうさまが見ているからな」と自分自身に言い聞かせることで、落ちていきそうな自分を引っ張り上げることができます（時には失敗することもあります）。また、誰に評価されるわけでも褒められるわけでも無いけれど、丁寧に時間をかけて物事に取り組んだり、表には現れないちょっとした心遣いをしたりするときも、「きっとおてんとうさまは見てくれているのだろうな」と思えば張り合いも出てきます。私にとってあんな怖かった「おてんとうさま」が、今では自分をいい方に導いてくれる味方になっています。

今や街頭の至るところに防犯カメラが設置され、罪を犯せばその記録映像を基に追跡され、たちどころに犯人は捕まります。防犯カメラがあるから悪いことはできないと思う人もいるでしょうから、防犯カメラは犯罪を未然に防ぐ抑止力になっていることは間違いありません。でも私たちはカメラがあろうとなかろうと、他人が見ていようと見てまいと、あまねく照らす「おてんとうさま」の下、やるべきこと、やってはいけないことをしっかり自分で判断し、生きていく努力をしなければならないのだと思います。

修学旅行5日目、この日は午後から京都班別行動の日でした。夕方に小笠原中の生徒の身分証を拾ったと学校に電話をしてくださった方がいました。その方はたまたま東京から京都に旅行に来られた方で、この日の夜の新幹線で東京に戻れるとのことでした。学校から連絡を受け、急いで京都駅方面に向かい、何とかその方にお会いすることができました。その方はこうおっしゃいました。「以前、(伊豆七島の)〇〇島に住んでいたことがあって、小笠原の遠さや生活の大変さを知っています。この生徒さんが身分証を無くしたら、せっかくの修学旅行なのにとっても困るのではないかと思いますし連絡をしました。」身分証を受け取り、感謝の気持ちをお伝えして宿に戻ってきましたが、その方の優しさと心遣いが有り難く、心が温かくなりました。それと同時に一方(ひとかた)ならぬ「縁」を感じました。道端に落ちていた1枚の身分証を拾い上げてくださったこと、小

笠原のことをご存じだったこと、生徒が困らないか心配してくださったこと、すぐに学校にご連絡をいただいたこと、そしていい修学旅行になるように祈ってくださっていたこと……。当たり前ではない様々な偶然や思いが重なって身分証はその日のうちに本人の元に届きました。

「おてんとうさまはやっぱり見てくれている。」私は改めてそう思いました。

第3学年「修学旅行」

第3学年学級担任 野内 由紀子

3年生は10月7日(木)から16日(土)に9泊10日の修学旅行を行いました。当初の予定であった5月出発に向けて、2年生の時から事前学習を始め、3年生になってからは班ごとにコース決めを行いました。10月に延期が決まったものの、先の見えない状況の中で、教員も生徒も修学旅行を実施できるかどうか不安な気持ちで日々を過ごしました。

修学旅行中はスローガンである「Full Force」を達成しようと、生徒たちは全力でさまざまなことに取り組みました。奈良・京都のバス行動でガイドさんやお寺の方のお話をよく聞き、建物や仏像や絵を真剣に見て、自分から何かを得ようとする姿。京都での公共交通機関を使った班行動で地図を見たり、周りの人たちに聞いたりして、班で協力する姿。上級学校訪問で電車が止まるというハプニングがありながらも周りの状況をよく見て、臨機応変に行動する姿。TGGで日頃の英語の授業で学んだことを活かし、積極的にコミュニケーションをとる姿。全員が全力で学び、楽しみ、協力することができました。

「百聞は一見に如かず」という言葉の通り、実際に自分の目で見て、体験する中で思ったことや感じたことが数多くあったようです。そして生徒1人1人にとって、3年間の学習の集大成となったと信じています。

この10日間を通して成長した生徒の姿を見てみると、実施することができてよかったと心から思います。修学旅行に関わっていただいた全ての方に感謝申し上げます。修学旅行での学びをこれからの学校生活に活かし、3月の卒業に向けて学年の教員と生徒が一丸となって過ごしていきます。

修学旅行10日間の行程 (様子は学校フェイスブックでもご覧になれます)

10月	7日(木)	第1日目	出発式 おがさわら丸乗船 父島発
	8日(金)	第2日目	竹芝棧橋着
	9日(土)	第3日目	新幹線で移動 奈良公園付近散策(興福寺国宝館・東大寺見学)
	10日(日)	第4日目	奈良・京都バス行動(法隆寺・薬師寺・平等院・伏見稻荷大社)
	11日(月)	第5日目	建仁寺座禅体験・京都班別行動
	12日(火)	第6日目	京都班別タクシー行動 新幹線で移動
	13日(水)	第7日目	上級学校訪問・TGGにて体験学習
	14日(木)	第8日目	東京タワー・周辺散策
	15日(金)	第9日目	おがさわら丸乗船 竹芝棧橋発
	16日(土)	第10日目	父島着 解散式



第2学年「夢の教室」

第2学年担当 野田 さくら

10月6日(水)、2年生では5・6校時に日本サッカー協会(JFA)主催の「夢の教室」通称「ユメセン」が行われました。元ボブスレー選手の桧野真奈美さんにビデオ会議システムを利用し内地から講演をしていただきました。1枚のホワイトボードの端から端まで、桧野さんの楽しかったこと、頑張ってきたこと、苦しかったこと、挫折したことなど…人生の中での様々な起伏を示していただきながらお話をしてくださいました。中でも「人のせいにしない」「何事にも全力で取り組む」「継続は力」などの力強い教えには、2年生の生徒たちも聞き入っていました。生徒たちがこれから自身の“夢”を考え、行動するにあたって、この講演で得たものを無駄にせず、日々精進して行ってほしいと思います。



英語科「マレーシア交流授業」

英語科担当 高田 奈々

10月12日(火)にマレーシアの Tunku Abdul Rahman Secondary School の中学2年生と、ビデオ会議システムを用いて交流授業の1回目を行いました。10月現在、マレーシアの学校の多くは新型コロナウイルス感染症の影響で全ての授業を遠隔で行っているそうです。

今回のテーマは、教科書の Unit4 の単元に合わせて、「Tour in Our City」ということで、前半はマレーシアの生徒からは Kuching という都市について、後半は小笠原の生徒からは日本、東京、小笠原について観光案内を英語で行いました。Kuching は「猫の町」として有名で、都市部でありながら自然環境にも恵まれた地域だそうです。また地元の料理の紹介などもあり、生徒から「美味しそう」という声も漏れていました。後半の小笠原中の発表では、緊張しながらも自分の紹介したいものを伝えようと真剣に取り組んでいました。時間の都合上、授業では約半分しか紹介できませんでしたが、後日双方で全てのプレゼンテーションを共有しました。

今回の交流から、「自分の言葉をどう瞬時に紡いでいけるか」ということを課題に感じた生徒が多かったようです。その後から、「次の交流授業では、よりよいコミュニケーションを取りたい!」という意志を日々の授業で感じています。2回目では、より積極的にコミュニケーションを図っていきましょう。



令和3年度後期生徒会 役員会・各種委員会

10月30日(土)に令和3年度後期生徒会総会が行われ、今年度前期の活動報告と今年度後期の活動計画の提案を行いました。後期からは、生徒会活動の中心が3年生から2年生になります。今後、生徒会役員・各種委員として、小笠原中学校の生徒会活動の中心となる生徒の皆さんを紹介します。

	第1学年		第2学年		第3学年	
役員会						
学級委員						
生活委員						
美化委員						
保健委員						
放送委員						
図書委員						
体育委員						
福祉委員						

◎委員長 ○副委員長 ◆書記 (敬称略)

ゲストティーチャー「食育講話」

食育担当 野田 さくら

小笠原中学校では食育の取組として、「食育講話」「お弁当の日」を毎月実施しています。令和3年10月5日(火)に実施した先月の「食育講話」では、講師に島しょ保健所小笠原出張所の花川怜子栄養士にお越しいただき、「野菜を積極的に摂ろう」をテーマとしたお話を伺いました。

事前に行った「野菜摂取について」のアンケートデータからは、「野菜をおいしいと感じ、大切さも理解している」ものの、「積極的に摂取はできていない」ということがわかりました。お話から学んだ「1日に必要な野菜の量」や「野菜を摂ることのメリット」をもとに、自分で料理をする「お弁当の日」をきっかけにして、ぜひ野菜を積極的に摂れるような行動や工夫をしてほしいと思います。

今後も小笠原村の関連機関の方々との連携を通して、生徒の食に関する知識をさらに深め、生涯に渡って健康を維持する意識を高める取組を推進していきます。

PTAブイ・フロート清掃

小笠原小・中学校の児童・生徒、保護者・地域の方々、教職員が共に汗を流し、ブイ・フロートの清掃を行いました。

清掃の前には、小笠原スクーバダイビング安全対策協議会の皆様が、撤去のために朝早くから作業をしてくださいました。

今年度も青灯台付近での遊泳のために、ご尽力いただきました関係機関のみなさまに厚く御礼申し上げます。



11月の行事予定

1日(月) 生徒会朝礼	15日(月) 学校朝礼
2日(火) 安全指導 自転車安全点検 テスト計画 役員会・各種・中央委員会	17日(水) 期末考査1日目(国・英・保体)
3日(水) 文化の日	18日(木) 期末考査2日目(社・数・音) SC勤務
4日(木) 生活アンケート SC勤務	19日(金) 期末考査3日目(理・技家・美)
5日(金) 食育講話 避難訓練 3年都学力調査	22日(月) 学校朝礼
6日(土) 東京都教育の日	23日(火) 勤労感謝の日
7日(日) 英語検定(二次)	24日(水) お弁当の日
8日(月) 生徒会朝礼	25日(木) SC勤務 2年都学力調査 役員会・各種・中央委員会
10日(水) 職員会議 部活動中止(18日まで)	26日(金) SC勤務 1年都学力調査
11日(木) 3年保育実習	29日(月) 生徒会朝礼 SC勤務
12日(金) 3年三者面談終	